とちぎコープ生活協同組合 機関誌

おしゃべり・かわら版

2019年
7月号
発行日／2019年7月1日
Vol.208

おしえて！おしえて！

しいたけの上手な焼き方

しいたけをオーブントースターで焼いてみましたが、焼きすぎてしまいました。おいしく焼く方法をおしえてください。

（日光センター 組合員さん）

みょうがのおいしい調理法

みょうがをたくさんもらいましたが、天ぷら、薬味、ピクルス位しか食べ方を知りません。他においしい調理法があったらおしえてください。

（足利センター えりママさん）

サンドウィッチにおすすめの具材

お昼によくサンドウィッチを作るのですが、マンネリ化しています。おすすめの具材はありますか。

（日光センター 組合員さん）

中途半端に残ったドレッシングの利用法

中途半端に残ってしまったドレッシングの使いみちをおしえてください。

（西那須野センター F.Yさん）

おしえてあげちゃいます！

※今回「減塩食のレシピ」（2019年5月号に掲載）には声が寄せられませんでした。

氷菓キャンディーの汚れない食べ方（2019年5月号に掲載）

我が家では、子どもの口に一口で入る位の小さい製氷皿を使って、ジュースやカルピスで氷菓キャンディーを作って食べさせています。7歳と2歳の2人の子どもがいて、1回でできる量だとすぐに食べ切ってしまうので、ジッパー付き保存袋に入れて作り置きしています。上の子が下の子の分も一緒に、それぞれのお皿に入れてくれ、手づかみで食べていますが、ご飯の時よりも行儀がよいので、さほど汚れずに済みますよ。

（小山センター 組合員さん）

我が家では、氷菓キャンディーをカチカチに凍らせたものを、手で半分にバキッと折って食べていました。はじめは硬いですが、噛んでいくとそのうちに溶けてシャキシャキとおいしいですよね。あまりに汚すようならお皿に移してスプーンで食べてもよいと思います。

（日光センター K.Mさん）

かんぴょうのレシピ（2019年5月号に掲載）

- 甘辛く煮付けたかんぴょうを5～6cmに切り、天ぷらにするとおいしいですよ。天ぷらの衣は牛乳でさっくりと混ぜて揚げてください。
- かんぴょうの酢の物もおすすめです。酢は食欲のない時等の食卓には欠かせません。

① かんぴょうを塩水でよくもみ洗いをして、約20分位茹で、水を換えながら水洗いします。
② ①を砂糖・塩少々で煮込み、やわらかくなったらザルに上げ、汁気を切り、5cm位に切ります。
③ 砂糖大さじ3・酢大さじ3・塩小さじ1/2を混ぜてひと煮立ちさせ甘酢を作り、②を和えて、ごまやきゅうりを添え器に盛ります。青しその葉をきざんで和えてもよいです。

（芳賀センター M.Kさん）

まいたけはどこまで食べられますか（2019年5月号に掲載）

まいたけの袋に記されていることがありますが、捨てる部分はなく、全部食べられるそうです。お店の方にお聞きしましたが、そうおっしゃっていました。

（小山センター T.Tさん）

市販されているまいたけは、きれいに洗い全部食べられますのでご安心ください。天ぷらや、熱湯にくぐらせて生姜じょうゆでいただくのもとってもおすすめです。

（芳賀センター M.Kさん）

味が付いていない冷凍魚の調理法（2019年5月号に掲載）

さば：塩・こしょうを振り、ごまと片栗粉をまぶして多めの油でこんがり焼いて食べます。

たら：にんにくをオリーブオイルで炒め、玉ねぎ、セロリ、にんじんを加えます。そこに塩・こしょう・小麦粉を振ったたらを加えて焼き、トマト缶、コンソメを加えて煮ます。あさりを加えると風味が増します。

（芳賀センター きいちゃん）

断乳の仕方（2019年4月号に掲載）

私の姉の話ですが、胸にアンパンマンの絵を描いて、意識をそらさせることで断乳していました。

（宇都宮センター 食べるの大好きさん）

野菜で作るおやつのレシピ（2019年4月号に掲載）

かき菜の蒸しパン（パウンド型1本分）

材料

かき菜60g、牛乳100ml、プロセスチーズ60g、ブロックハム60g、スイートコーン60g、卵1個、ホットケーキミックス200g、こしょう少々

作り方

① かき菜を茹で、牛乳と一緒にミキサーにかけて液状にします。
② プロセスチーズとハムをコーンと同じ位の大きさに切ります。ハムの代わりに魚肉ソーセージを入れてもよいです。
③ ボウルに卵を割りほぐし、①を入れて混ぜます。そこにホットケーキミックスを加えて、さっくりと4～5回混ぜ合わせます。さらに②と、こしょうを加え混ぜます。
④ パウンド型にクッキングペーパーを敷き、③を流し込んで表面を平らに整え、蒸し器に入れて、強火で30分ほど蒸します。

色もきれいで簡単でおいしいです。そのままでもおいしいですが、マスタードやケチャップを付けて食べてもおいしいです。佐野で有名なかき菜で作っていますが、野菜の味があまりしないので苦手な子でも食べやすいです。

（足利センター あやママさん）

チョコレートを使ったお菓子のレシピ（2019年3月号に掲載）

お手軽ガトーショコラ（直径18cm丸型1個分）

材料

バター100g、純ココア100g

A：ミルクチョコレート、小枝チョコレート（ミルク）各60g

B：卵黄3個分、砂糖40g　C：卵白3個分、砂糖40g

作り方

① Aの材料を細かく切ってボウルに入れ、湯せんにかけ、ペースト状に溶けたところで、室温でやわらかくしたバターを入れ混ぜます。そこに純ココアを振るって入れ、さらに混ぜます。途中固まりやすいので、手を休めないでください。
② Bの材料を別のボウルに入れ、少し白っぽくなるまで混ぜます。
③ Cの卵白をさらに別のボウルで泡立て、砂糖を2～3回に分けて入れ、メレンゲを作ります。
④ ①に②と③を交互に入れ、メレンゲの泡をつぶさないようにさっくり混ぜ込みます。
⑤ 型の底と側面にクッキングペーパーを敷き④を流し入れ、160℃に予熱したオーブンに入れて40分ほど焼き、竹串を刺してみて中の生地が串に付かなければできあがりです。冷めてから切り分けてください。

（足利センター あやママさん）

きいて！きいて！

2019年1月号のおしえてあげちゃいます！に、私が出した生姜の保存方法を掲載していただいたのですが、先日冷蔵庫の中でポリ袋に入れた生姜が腐ってしまいました。冬場は大丈夫のようですが、暖かくなってきたら新聞紙に包むだけの方がよいようです。

（小山センター E.Oさん）

2019年4月号のおしゃべり・かわら版に「募金活動にご協力ください」の記事がありました。東日本大震災復興支援募金が設定されてから、ささやかではありますがずっと続けています。ポイントが500を越えたら、その都度「コープデリからのお知らせ」の右端に小さな字で載っている6ケタ番号の全ポイント募金の数字を注文書に書きます。まだまだ生活が困難な方々がたくさんいらっしゃいます。少しでも届け！と思いながら…。

（西那須野センター Y.Sさん）

『機関誌おしゃべり・かわら版』のバックナンバーは、とちぎコープのホームページでご確認いただくことができます。現在は2018年1月号～2019年6月号まで掲載しております。

とちぎコープ第30回通常総代会報告

2019年6月12日（水）ホテル東日本宇都宮にて開催いたしました

書面・委任を合わせた出席者は372名、議案は全て承認されました。
また、当日は、ご来賓の「栃木県県民生活部・くらし安全安心課 課長 松川雅人様」「栃木県生活協同組合連合会 会長理事 竹内明子様」よりご祝辞を賜りました。

とちぎコープは、くらしに役立つ事業と、人と人とのつながりを大切にし、組合員さん一人ひとりにとって「いごこちの良い生協」となれることを目指しています。

第一号議案・第二号議案 **2018年度も多くの人を想い、そしてつながって、仲間、まわり、もっと多くの人へ、あたたかいつながりが広がりました。2019年度もさらに広げていきます。**

お茶会

開催期間：2018年7月～8月
参加人数：32,008人

生協が提供するお菓子を囲んで自由におしゃべりする場で組合員さんを中心に、いつでも、どこでも、誰とでも開催できます。忙しい生活の中、お茶会をきっかけに集まり様々な会話がありました。人とひととのつながりの大切さを改めて感じ深める場となりました。

いつもは立ち話をしている気の合うご近所さんと、腰かけておしゃべりできたことは良かったです。子どもに戻ったように「どれ食べようかな～」と目を輝かせている方もいました。毎日の生活の中でのたわいもない話ばかりでしたが、こんな機会はありがたいです。生協に感謝です。
（組合員さんの声）

おしゃべり交流会

開催期間：2019年2月～3月
開催数　：79会場 参加人数：701人

地域の身近な会場で開催し、組合員さんだけでなくどなたでも参加できるおしゃべりの場です。2018年度も幅広い年齢層の方に参加していただき、くらしの知恵の交換や様々な想いや悩みを共感し合うことができ、参加者同士のつながりが広がる場になりました。

おさつまもしっかりした味でおいしかったです。ごぼうサラダも歯ごたえもちょうどよくおいしかったです。ハムもおいしかったですので今度ぜひ購入したいです。お母さん達が頑張っているのでエネルギーをもらい、また手助けもしてあげたいと感じました。生協には色々な活動があり、びっくりしました。　（組合員さんの声）

ママカフェ

開催期間：2018年10月～11月
開催数　：23会場
参加人数：大人294人/子ども329人

子育て中の方がお子さんを預けて自由におしゃべりする場です。日々の想いや悩みを共有し共感できる温かいつながりの場になりました。

栃木県に住み始めて1年半、なかなか友人を作る機会がなかったので、このような場を設けていただけておしゃべりできて楽しい時間を過ごすことができました。
（組合員さんの声）

生産者交流会

年3回開催
参加人数：延べ47家族　190人

「森の水車米」を生産する那須山麓土の会の方達と、年間を通して交流しています。親子で様々な体験をすることで、生産者の方の立場を知り、食べることの大切さ、環境について考え、子ども達の生きる力を育む場となりました。

お米を初めて育ててみましたが、本当に大変なのだなと思いました。バケツ稲を、あまり陽に当たらない所に置いてしまったため、大きく育たず夏前から少し陽のあたる所に移動しましたが、やっぱり始めに育たなかった分があったので今回も収穫できませんでした。とても残念。今は機械でやっていることを、昔といっても何十年か前は人の手でやっていたのですから、本当に農家の方々のご苦労は想像できません。毎日食べものをいただけることにもっと感謝しなければと思います。
（組合員さんの声）

◎お米育ち豚の取り組み

お米育ち豚は「つくる人」「育てる人」「食べる人」の食に関わる様々な人達のつながりで開発された産直商品です。日本のお米づくりを支えたい、田んぼを守りたいとの想いで始まったこの取り組みが2018年に10周年を迎えました。とちぎコープでは組合員さんからお米育ち豚にまつわるエピソードやレシピを募集し、たくさんの声をいただきました。

◎県や各市町と様々な協定を締結しています。

- 高齢者見守り協定
  ［栃木県・小山市・那須町・野木町・さくら市・壬生町・下野市・足利市・栃木市］
- 災害時支援に関する協定
  ［宇都宮市・さくら市・下野市・真岡市・日光市・鹿沼市・高根沢町・上三川町・芳賀町・壬生町・足利市・小山市・佐野市・栃木市・那須烏山市・那須塩原市・矢板市・野木町・塩谷町］
- 包括連携協定
  ［鹿沼市、栃木県中山間地域活性化推進協議会（県内12市町）］

◎栃木県生協連や他団体とともに様々な問題に取り組みました。

- とちぎ食の安全ネットワーク
  食の安全性を確保し高めるために、社会的な発信や県民に向けた啓発活動、学習会等を行いました。
- とちぎ消費者ネットワーク
  消費者問題に関して、消費者への情報提供・啓発、消費者行政に関する研究・提言等を行い、消費者の権利の実現に貢献することを目的に様々な機関、専門家と連携をはかりました。
- 子育てサロン
  NPO法人「ウィズ」に委託し、越戸店と栃木店で、毎週子育てサロンを開催しています。
- コープくらしの電話相談室
  社会福祉法人ふれあいコープと連携し、組合員さんのくらしに関わる様々なお悩みごと、地域でのお困りごと等の相談をお受けしました。
- 認知症サポーター養成講座
  社会福祉法人ふれあいコープと宇都宮ブロックで「認知症サポーター養成講座」を共催しました。講師には、NPO法人「風の詩」理事長・永島徹氏をお招きし、認知症への理解を深めるとともに、周囲の対応の仕方について学びました。計2回開催し、合計116人の方にご参加いただきました。

◎被災地支援

「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を大切に取り組み、被災産地及び被災地メーカーへの復興支援の商品をカタログ「ハピ・デリ」や担当者ニュース等で毎月案内しました。

◎環境の取り組み

- 「ECOテック&ライフとちぎ2018」に栃木県生協連の一員として参加しました。今回は「プラスチックごみ」をテーマに家庭から出される1週間分のプラスチックごみの量を調べ、その後の1週間で減らすことを意識するとどの位減るのかを比較したサンプルを展示しました。また、県内14市を訪問し「ごみ政策の現状、どの位の資源ごみが可燃ごみに混ざって出されているか、今後の対策等」ごみ処理についてのアンケートを行い、結果を冊子にして配布しました。
- 足利ブロック委員会ではNPO法人「名草里山の会」とともに「田んぼの学校」を開催し、農業体験や自然観察を行い、環境や自然の循環、食育について学びました。
- 環境リサイクルのための資源ごみの回収に取り組み、多くの組合員さんからご協力をいただきました。
- 地球温暖化防止自主行動計画に沿ってCO_2排出量の削減に取り組みました。昨年度から29.7トン削減し、4662.9トンとなりました。

◎事業として

宅　配

- 日本生協連、コープデリ連合会と協力し、商品検査、工場・産地点検を計画的にすすめ、危機管理マニュアル運営を強化しました。今後も強化していきます。
- これまでの検査センター老朽化に伴い、新たな商品検査施設として「コープデリ商品検査センター」が、2018年4月さいたま市に移転・拡張しました。検査データの分析等による商品の改善や品質向上等、さらに食の安全につなげます。
- 放射性物質自主検査は2141検体実施しました。基準値を超えるものはありませんでした。今後も検査を継続し、検査結果をお知らせします。
- 組合員さんのくらしに合った「量目」「価格」「品揃え」を目指しました。今後も継続します。

- 不在時に安心して利用できるよう、セイフティカバー（コープデリカバー）をリニューアルします。
- LINEを使った注文が可能になりました。
- 宅配の毎月の利用金額に応じて、より多くのポイントが貯まる「ポイントステージ制」が始まりました。
- 宅配と店舗のポイントをeフレンズで相互に移行ができるようになりました。
- カタログ「足したり引いたりからだの願い」では、減塩商品の掲載数を増やし、糖質オフ商品は糖質の表示をグラム数で表します。

店　舗

- おもちゃのまち店と鶴田店では食品自主衛生管理認証制度「とちぎHACCP（ハサップ）」に沿って運営し、履行状況が確認され更新されました。今後も継続していきます。
- 試食や調理見本、料理レシピの提供や関連商品の陳列を行い、メニューが浮かぶ売り場づくりに努めました。今後も充実させていきます。
- お店の商品の予約や宅配の商品を店舗のサービスカウンターで受け取れる「お店ナビコープデリアプリ」を開始しました。
- 950ポイントで1000円のお買い物ができる「お買い物カード」の発行を開始しました。
- 「シニアサービス」が、スーパーマーケットでも始まりました。今後も継続します。
- 越戸店は9月に改装を行いました。
- お買い物が困難な方のための「移動店舗」を増車し販売地域を拡大します。

共　済

- 8570件の加入がありました。
- 《あいぷらす》プラチナ85にも、2018年9月より先進医療特約を付帯でき、85歳まで継続いただけるようになりました。
- 個人賠償責任保険の保障開始日を、初回保険料振替日の翌月1日から初回保険料振替日の翌日に変更しました。
- 特定疾病加入制度の対象疾病に「脂質異常症・高脂血症」を追加します。

電　気

- 2018年7月30日から電気小売事業「コープデリでんき」の受付が宅配で始まりました。再生エネルギー比率の高い電気プランと経済性を重視するプランを引き続き案内します。

職　員

- 協同組合で働く意義を常に確認し、組合員さんのくらしに貢献すること、組合員さんの期待に応えることを価値観とすることを目指します。

いつも笑顔で対応してくださいます。些細な質問に対しても丁寧に答えていただけるので気軽に質問できてありがたいです。　（組合員さんの声）

◎2019年度「NPO法人活動助成金」

社会貢献基金の一部を使い、38団体を助成することに決定しました。各団体の活動内容を「おしゃべり・かわら版」5月号に掲載しました。

◎2018年度の募金活動

	募金名	送り先および使途	募金金額
通年募金	ユニセフ募金	公益財団法人　日本ユニセフ協会	36万8420円
	盲導犬育成支援募金	公益財団法人　東日本盲導犬協会	213万7018円
	とちぎ子育て応援募金	公益財団法人　とちぎ未来づくり財団	4406円
	くらしと平和活動支援募金	とちぎコープのくらしと平和活動	1万2000円
	福祉募金（ふれあいコープ）	社会福祉法人　ふれあいコープ	6200円
緊急募金	東日本大震災支援募金	福島県生活協同組合連合会	130万5491円
	西日本大雨災害支援募金	被災地1府9県	1168万4785円
	北海道胆振東部地震募金	北海道生活協同組合連合会	669万 736円
その他	ハンガー・フリー・ワールド	NPO法人ハンガーフリーワールド	327万8692円
	ハッピーミルクプロジェクト	公益財団法人　日本ユニセフ協会	1万 447円
年間募金金額合計			2549万8195円
ペットボトルキャップ		JCV（認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会）	回収実績 746万930個

特別対策店舗について

＜ミニコープ富岡店・ミニコープ野木店＞

1991年4月に富岡店を、1992年1月に野木店を開店しました。開店に当たっては多くの組合員さんが準備から携わってくださり、当初は両店共に多くの方にご利用いただきました。しかし、徐々に周囲にスーパーマーケットやコンビニエンスストア等が出店するようになり、供給高は減少しました。このような状況を受け、店舗閉鎖基準に基づき第29回通常総代会で特別対策店に指定させていただきました。指定後は様々な対策を実施しました。また、富岡店では組合員さんが「特別対策委員会」を立ち上げてくださり、組合員室でのサークル活動や店頭での試食販売、チラシ配布等を行っていただきました。その結果、前年よりも多くの組合員さんに利用していただくことができましたが、直接剰余の黒字化には至りませんでした。2019年以降も黒字化が見込めないことから、富岡店を7月7日に、野木店を7月14日に閉店させていただくこととなりました。

これまで両店を利用してくださっていた組合員さんにご不便をおかけし申し訳ございません。今後の対応については丁寧に進めてまいります。

◎2018年度決算報告

総事業高	供給高	経常剰余金
271億6221万円	262億703万円	4億2541万円

剰余金処分　（単位：円）

項　目	金　額	
Ⅰ当期未処分剰余金		511,849,013
1.社会貢献基金取崩額	6,007,564	517,856,577
Ⅱ剰余金処分額		
1.法定準備金	200,000,000	
2.出資配当金	22,253,444	
3.任意積立金		
(1)施設積立金	75,242,404	
(2)資産再評価等積立金	54,031,652	
(3)社会貢献積立金	50,000,000	
(4)環境対策積立金	6,380,938	407,908,438
Ⅲ次期繰越剰余金		109,948,139

◎2019年度予算

総事業高	供給高	経常剰余金
273億4732万円	263億7776万円	2億8880万円

第三号議案 役員選任規約一部改定の件

「役員選任規約」第2条および第3条の改定を行います。
事業連合理事については、組織名称の変更にともない、連合会理事に訂正します。組合員理事については、実態に即した見直しを行います。

第四号議案 役員報酬枠決定の件

役員の年間報酬は下記の総額の範囲とします。

理事（常勤役員3名・非常勤役員20名）の報酬枠　総額5975万円
監事（5名）の報酬枠　総額 350万円

採決結果

総代定数：400名
当日出席：372名［本人出席243名（代理出席：0）・書面出席129名］

議　案	内　容	採決結果
第一号議案	2018年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件及び監査報告の件	賛成多数により承認
第二号議案	2019年度事業計画・事業予算設定の件	賛成多数により承認
第三号議案	役員選任規約一部改定の件	賛成多数により承認
第四号議案	役員報酬枠決定の件	賛成多数により承認

◎わたしの想い話したい

- 芳賀ブロック　夏目 友美様
- 足利ブロック　石澤 和枝様
- 芳賀ブロック　大山 真貴子様
- 宇都宮ブロック　村松 美智子様

特別報告

特定非営利活動法人　ビリーブ理事長　栗本 孝雄様

ビリーブでは、小山市が要支援児童と認定し、子どもの居場所の利用が望ましいとされた小中学生を対象に、放課後、学校または家に迎えに行き、居場所の「シリウス」で宿題・勉強を見、お風呂に入れみんなで一緒に食事を摂り、洗濯その他身の回りの世話をして自宅に送り届けることをしています。

シリウスのスタッフやボランティアと過ごす子ども達が見せる素敵な笑顔とは裏腹に、過酷とも言えるマルトリートメントのもとで育ち今もその環境にあります。マルトリートメントとは、大人の子どもに対する不適切な養育や関わり方のことであり、法律が定義した虐待の他に子どもの貧困も含めることができます。貧困は経済的なことだけではなく、年齢相応の経験に欠けること（経験の貧困）、人やコミュニティーとの関係性が不足したり欠如すること（関係性・社会性の貧困）をも含みます。子どもの居場所事業は、マルトリートメントによって子どもに与えられる心身の危険から子どもを守ることが大切な目的のひとつです。居場所は①子ども達にとって受け止めてくれる人がいる場②休息の場③寄り添い共に行動する存在のスタッフ④自尊感情を回復、獲得する場を目指しています。シリウスのスタッフは子どもの社会的自立を願いながら、子どもの育ち直しを支援し、併行して子どもの保護者の子育てを手伝います。これらが、貧困や虐待の世代間連鎖を断つことにつながることを信じて活動しています。

スキー合宿を楽しみにしていると話していた子が、親が積み立てをしていなかったことで1週間前に参加できないとわかり、黙り込む場面。スタッフの言葉がけに「どうせ僕なんか」と視線を外してつぶやくのが常の4年生が「どうせ僕は影だから」と独り言を口にした場面。子どもの自尊感情はと考えた時、いずれも心が痛かったです。

シリウスでは、誕生会や季節の行事、地域の社会体験や夏休みの宿泊キャンプ等、子ども達の経験値を増やすことを大切にしています。子ども達は、他の子やスタッフとの関わりを通じて社会性を身に付け、自己肯定感を取り戻していきます。来所当初は、勝つためにゲームのルールを勝手に変えていた子が、自分の誕生日に、自分で切り分けたケーキの一番大きいのを、他の子に「この果物好きだったよね」とあげた場面は、子どもの変化を目の当たりにして嬉しかったです。

現状を知っていただいて、みなさまそれぞれが「できる範囲で何かを」と考えていただければ、大変ありがたいです。こうした支援につながる子は氷山の一角です。マルトリートメントの兆しに気付いたちょっとお節介なおばちゃん、おじちゃんが子どもに関わってくれると、状況が変わるかもしれません。

6月度 理事会だより

●5月度のまとめ
とちぎコープ全体の総事業高は21億4016万円で、経常剰余金は491万円でした。1024人の新しい組合員さんをお迎えしました。

●理事協議会報告
ブロック委員会では、理事会での役員政策検討委員会の答申を受け、理事協議会で理事活動（組合員活動）の手引きを作成し、①総代会理事会に関すること②理事活動に関すること③ブロック活動に関すること等の項目について詳細を協議し確認しました。ハード面を整えることはもちろん、ソフト面の充足も大切です。組合員理事が生協の理念を核に持ち、同じ目的に向かってやりがいを感じられる活動となる理事協議会のあり方を今後も考えていきたいと思います。

●栃木県生協連報告
- 役員・幹部職員定期学習会を開催。湯浅誠氏より、貧困問題について伺いました。
- 食の安全ネットワーク学習会「おびやかされる食の安全～TPP11・日米 FTAの影響と対応策…講師：鈴木宜弘氏」を開催しました。
- とちぎ消費者ネットワーク第1回幹事会では、参加団体の活動報告等を行いました。
- 県の委託を受け「若者への消費者問題啓発事業・消費者カレッジ」を自治医大で開催。7年目の取り組みとなります。
- 4/9第6回理事会および臨時常務理事会を開催しました。
- 第6回くらし部会を開催。2019年度の活動計画を行いました。
- 栃木県労福協主催の福祉まつりに協力しました。

5月度の経営状況について

●5月度（単月）

	実　績
総事業高	21億4016万円
事業総剰余金	5億2711万円
事業経費合計	5億2943万円
経常剰余金	491万円
組合員数	25万8768人

●2019年度累計（4月度～5月度）

実　績
43億6669万円
10億7553万円
10億5509万円
3309万円
平均出資金 2万9332円

●商品検査レポート　5月度の商品検査件数　（毎月下記の検査を実施しています。）

検査種類	微生物や食品中に残留する化学物質等の検査										食品の品質を確認する検査			食品の表示を確認する検査			調査		合計
検査の項目	微生物検査	残留農薬	動物用医薬品	食品添加物	硝酸濃度	汚染物質等	カビ毒	ヒスタミン	放射性物質	遺伝子（微生物）	官能検査	品温検査	品質	特定原材料	栄養成分	肉種・品種・産地判別	お申し出品検査（左記以外）	施設衛生検査	
5月度検査数 品目数	1,219	44	12	7	0	0	2	35	118	10	0	24	84	32	56	7	0	448	2,098
2019年度検査品目累計	2,809	116	23	10	0	0	12	84	272	19	0	54	191	66	127	15	0	1,335	5,133

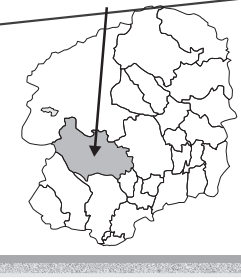
HOT!情報

講演会【維持可能な社会をもとめて－平和・民主主義・環境－】

日　時：7月26日（金）　午前10時～12時
会　場：とちぎ健康の森 大会議室（宇都宮市駒生町3337－1）
講　師：滋賀大学元学長・大阪市立大学名誉教授　宮本憲一氏
主　催：栃木県生活協同組合連合会
※お申し込み締め切り　7月19日（金）

お問い合わせ・お申し込み 栃木県生活協同組合連合会　事務局
電話：028－680－5592（平日 午前9時～午後5時）

栃木県の中山間地域紹介
～鹿沼市～



四季折々の植物や風景が楽しめる「前日光 横根高原」

前日光県立自然公園の横根高原には、別名「小尾瀬」とも呼ばれる井戸湿原があり、動植物の宝庫としても知られています。横根山及び井戸湿原を中心とした周遊コースには四季折々ごとに変わる植物が自生しており、これからの季節はワタスゲやサギスゲ、8月頃からはサワギキョウが見頃となります。鹿沼市が運営するログハウス風の簡易宿泊施設「前日光ハイランドロッジ」もあります。ぜひ前日光の雄大な大自然を五感で感じてください。

前日光ハイランドロッジ　電話：0288－93－4141

●発行／とちぎコープ生活協同組合　●電話／028-634-5117　●所在地／〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町858
●編集／かわら版編集委員会　●ホームページアドレス／https://tochigi.coopnet.or.jp/
VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています。